



『プラットフォーム企業のグローバル戦略 オープン標準の戦略的活用とビジネス・エコシステム』

立本 博文 著

株式会社有斐閣

平成 29 年 3 月 30 日刊

A5 判 414 頁

本体価格 5,400 円＋税

ヒト・モノ・カネと情報の国際的な流動化が進みグローバル社会となった今日において、プラットフォーム企業はどのような競争戦略によって高いシェアを獲得・維持することに成功することができたのであろうか。

著者は、オープン化やグローバル化が進んだ新しい産業環境下でなぜプラットフォーム企業が抜きん出た競争力を持つことができたのか、また、驚くべき競争力を持つプラットフォーム企業の台頭が先進国企業と新興国企業に国際的な産業構造変化を引き起こしたことを事例研究・実証分析によって明らかにしている。

本書は 4 部から構成されており、第 1 部「問題提起と分析フレームワーク」（第 1 章、第 2 章）では、プラットフォーム戦略の前提となる産業構造のモデル化とプラットフォーム企業の競争戦略として「ハブへの位置取り」「戦略的標準化」「二面市場戦略」「バンドリング戦略」を取り上げて理論的に明らかにしている。

第 2 部「グローバル・エコシステムの成立」（第 3 章、第 4 章）では、「戦略的標準化」として GSM^{※1}方式携帯電話の中国市場導入の事例で、急成長を遂げた中国市場において欧州の通信設備企業がシステムを二分化しクローズ領域で基地局の市場シェア維持に成功した事例について紹介し、また新興国市場展開におけるプラットフォーム戦略として半導体製造装置産業の取引データを用いて実証分析を行い、プラットフォーム戦略の効果を明らかにしている。

第 3 部「グローバル・エコシステムの拡大」（第 5 章から第 7 章）において、第 5 章では「周辺市場参入」として、なぜ、一介の部品企業にすぎなかったインテルがパソコン産業のプラットフォーム企業となり巨大な影響力を持つようになったのか、インテルの競争戦略として「チップセット市場参入」と「マザーボード市場参入」がわかりやすく紹介されている。第 6 章「共存企業との関係マネジメント」では、技術プラットフォーム企業のインテルと技術プラットフォーム採用企業として台湾マザーボード企業との協業プロセスを紹介している。

第 7 章では「ユーザー企業との関係マネジメント」として自動車の中核部品であるエンジン ECU^{※2}に焦点を当てながら、中国市場でポッシュが採用しているプラットフォーム企業的な戦略「簡明アプローチ型」と、一方、デンソーが採用している製品重視の戦略「濃密アプローチ型」という異なる企業行動戦略を分析し、今後さらにユーザー企業との関係マネジメントの重要性が拡大すると提唱している。

第4部「プラットフォーム戦略の成功要因とその国際的影響」(第8章、第9章)として、これまでの事例研究・実証研究を分析フレームワークをもとに整理し、プラットフォーム企業が国際的に成功すると、新興国産業のキャッチアップが進むことにより、逆に先進国企業と新興国産業の国際分業が進み、国際的な産業構造変化を引き起こすことを明らかにしている。

本書の特筆すべき一つとして、事例分析・実証研究ではバイアスがかからないようにグローバルに展開する企業に対して100回を超えるインタビューを行い、事実と数字で裏付け作業を行ったエビデンスにより分析・研究が行われていることがある。

また、本書で扱った携帯電話、半導体製造装置、パソコン、車載エレクトロニクスのみならず、IoTエコシステムやAIを用いたデータ・ドリブンなど新しく生まれつつあるエコシステムやプラットフォーム企業にも参考になるものと思われる。

グローバル社会においてプラットフォーム戦略が重要であることは明らかであるが、著者が指摘するように、日本ではプラットフォーム企業が少ないのが現状である。本書は、日本企業がグローバルでより一層飛躍するために、経営者、研究者およびコンサルタント業務を行う公認会計士にとって貴重な著書である。

以上のことから、協会学術賞—MCS賞に値するものとして選定した。

※1 GSM (Global System for Mobile Communications)

※2 ECU (Electronic Control Unit)

著者の略歴

立本 博文 (たつもと ひろふみ)

昭和49年 千葉県生まれ

平成10年 東京大学経済学部卒業

平成14年 東京大学大学院経済学研究科 (博士課程中退)

平成14年 東京大学先端科学技術研究センター助教

平成16年 東京大学ものづくり経営研究センター助教

平成21年 兵庫県立大学経営学部准教授

平成22年 MIT客員研究員

平成24年 筑波大学ビジネスサイエンス系准教授

現 在 筑波大学ビジネスサイエンス系教授・博士(経済学)(東京大学)

[主な著書]

・オープン・イノベーション・システム (共編著)